

軟式野球競技大会要項

1. 参加資格

- (1) 地区中体連に加盟している学校で、大会運営に協力できるチーム。また、硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
- (2) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録されたものとする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
- (3) 県・地区中体連の規定に沿った中学生らしい身なり・容姿であること。
- (4) 参加資格の特例を認める。県中体連会報の「開催基準 8 (6) 複数合同チーム」を参照。
- (5) ※拠点校部活動や地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格の詳細については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。

2. 競技方法 トーナメント方式とする。

3. 競技規則 2024年公認野球規則及び大会特別規則に則って行う。

4. 大会規定

- (1) チームの登録は、選手20名、監督1名、コーチ2名、記録員1名の24名以内とする。但し、外部コーチが入る場合は1名に限る。
- (2) 背番号は1～20番を使用し、原則としてポジション順とする。
- (3) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォーム・帽子を着用する。尚、監督・コーチのシューズについて同色とする。(高校野球対応のものとする。)
- (4) 試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。但し、決勝は除く。また、日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合(サスペンデッドゲーム)を適用する。
- (5) 全試合とも延長戦(8回以降)はタイブレーク方式(無死1・2塁継続打順制)を適用する。勝敗を決するまでこれを続ける。
- (6) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日100球までとする。(タイブレーク方式も含める。)ただし、試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- (7) 投手の12秒ルール及び20秒ルールの取り扱い基準を適用する。【競技者必携】
- (8) 夏季総合大会においては、ポイント制を採用しているため、ポイントの高い順にシード校を決定する。
- (9) 新人総合大会においては、地区新人大会(連盟主催)の結果をもとにシード校を決定する。※同一校2チームまで出場可能。(同一校のA・Bを同じブロックに入れない。)
- (10) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。

5. 申込期日

夏季大会	令和6年	5月	7日(火)	午後5時必着のこと。
新人大会	令和6年	11月	18日(月)	午後5時必着のこと。

6. 申込先 石垣市立石垣第二中学校内 八重山中学校体育連盟事務局 仲本 英基 宛

7. 試合球 夏季大会 全日本軟式野球連盟公認球（内外ベースボールM号球）とする。
新人大会 全日本軟式野球連盟公認球（ナガセケンコーボールM号球）とする。

8. 表彰 優勝チーム（賞状・優勝旗）、準優勝チーム（賞状）を表彰する。
個人賞は決勝進出チームから優秀選手・敢闘（各1名・賞状）、打撃賞は1位のみ（賞状・トロフィー）を表彰する。（トロフィーは、夏季大会のみ。）
打撃賞に関しては規定打席（1試合×2打席以上：準決勝戦・決勝戦までとする。但し、タイブレーク方式は除く。）に達している選手。

9、複数合同

- （1）複数合同チームの編成基準に関しては、中体連会報に準ずる。
- （2）複数合同チームの編成については、複数合同チーム申請書（様式1・2及び名簿）を作成し大会申し込み前（指定日）までに地区中体連事務局に提出する。
- （3）選手以外のベンチ入りについては、監督（両校のうちどちらか1名）、コーチ（両校から各1名）マネージャー（両校から各1名）、合計5名までとする。マネージャーは生徒とする。

9. その他

- （1）専門部の申し合わせ事項と大会特別規則については別に定める。
- （2）予備日として平日（午後4時以降）行う場合もある。
- （3）試合終了後、勝利チームの校歌斉唱を行う。
- （4）各チーム（応援団を含む）のゴミは持ち帰ること。最終試合のチームは試合終了後ダッグアウト、スタンド等の清掃とグラウンド整備を行うこと。